

高等部 生活単元学習 学習指導案

日時	令和3年9月21日(火) 5, 6時間目
場所	<スキルアップグループ> 高等部3年教室 <チャレンジグループ> 希望の棟
対象	高等部2, 3年生
指導者	<スキルアップグループ> T1 永石 浩 T2 吉田智穂 <チャレンジグループ> T1 溝口薫子 T2 吉田裕平 T3 奥野梨奈

1. 単元名「買い物の仕方や計画的なお金の使い方を練習しよう」

2 単元について

本単元の対象となる生徒は、高等部2年生8名、3年生7名である。生徒の実態には、幅があり、日常生活全般において支援を必要とする生徒、日常生活動作に関しては自立しているが、コミュニケーションに課題をもつ生徒などがいる。生徒たちは、将来の生活に向け、実践的な学習を進めており、中でも、買い物や金銭の取扱いに関わることは、重要な学習課題の1つである。本単元を計画するにあたって、アンケート調査を行ったところ、対象生徒15名のうち、保護者からお小遣いを貰っている生徒が10名いることがわかった。その内、6名は、月1回、週1回など決まった日に定期的に貰っており、自分でお金の使い道を考える経験をしている。日頃から貯金をしている生徒が2名いた一方で、すぐに使ってしまうなど課題がある生徒も多い。また、お小遣い帳をつける習慣がある生徒はいなかった。買い物のスキルについては、買い物の一連の流れを全部一人でしている生徒は4名であり、他の11名の生徒は、一部の支援を必要としている。一部の支援を必要とする生徒は、商品を選ぶことは生徒がするが、レジでの支払いには保護者が一緒にしているという生徒が多かった。また、買い物の経験が少なく、自分の好きな商品を選ぶことが、難しい生徒もいる。

本単元で取り扱う買い物に関する活動は、生徒の興味関心が高く、意欲的に取り組めることが期待できる。買い物に対する各生徒の実態には幅があるため、2グループに分かれて学習活動を行う。「スキルアップグループ」の生徒たちは、将来の生活において、仕事をして収入を得ることが予想される生徒たちである。スキルアップグループでは、日常生活に必要なものを予算内で買い物する。限られた予算の中でやりくりし、日常生活に必要な物を買うことは、将来の生活において、給料等を計画的に使うことにつながるのではないかと考える。「チャレンジグループ」の生徒達は、買い物をすることに支援を必要とするが、繰り返しの学習において、一人で、もしくは、一部支援を受けて買い物できるようになることが期待できる生徒たちである。買い物スキルグループの生徒たちは、繰り返し同じ店舗へ買い物に行き、視覚的教材などを活用しながら、買い物の一連の手順を学習する。徐々に支援を少なくし、生徒達それぞれに応じた自立的な買い物をするできるようになれば、自信や将来の余暇活動につながると考える。

両グループともに、商品の金額を見て考えて買い、買い物後には、レシートを元に、加法及び減法の計算を行い、残金を出し、お小遣い帳や収支報告書に記載する。予算と商品の値段を比較して考えたり、視覚的に収支が把握できるお小遣い帳等のつけ方を学んだりすることは、机上の学習で身に付けた数量の関係や計算の知識・技能を社会生活に生かす機会であるとともに、お金を大切に使うと

いう意識につながるのではないかと考える。また、買い物の計画を立てるための話し合い活動や買い物時のやりとりは、相手に必要なこと伝える、声の大きさや言葉遣いに気をつけるなど、社会生活に関連のある言語活動を設定することができると思う。以上のようなことから、本単元を設定した。

指導にあたっては、次の2点に留意して指導を行いたい。第1に、2学年合同の学習とし、実態別にグループ別学習をすることで、学習目標に応じた学習と対話的で主体的な学習が両立できるようにしたい。小集団での学習活動の中で、パソコン等の情報機器や具体物を用いた教材を活用することで、生徒自身が課題に気づいたり、友達と協力して学んだりするなど、生徒がより主体的に学習に取り組めるようにしていきたい。第2に、各学習グループの学習目標に応じ、予算の提示の仕方を変えとともに、買い物に行く店舗についても考慮したい。スキルアップグループでは、単元全体での予算を1000円とし、「コンビニエンスストア」「家電量販店」の2店舗に買い物に行く。業務形態が違う2店舗は、それぞれに価格帯や主力商品が異なるが、同時に、品揃えに重なる部分もあり、同じ商品の価格を比較しながら買い物を検討することも可能である。チャレンジグループでは、食品から日用品まで幅広く販売しているコンビニエンスストアに3回繰り返し買い物に行き、1回300円の予算で買い物をする。店舗の面積が狭く、店全体を把握しやすいコンビニエンスストアは、買い物の一連の流れを無理なく学ぶことができる環境であると思う。

3. 単元の目標

- 買い物に関わる一連の手順を理解し、一人、もしくは一部支援を受けながら買い物をしたり、決まった予算の中から、日常生活に必要なものを価格や品質を比較しながら、買ったりする。
(家庭)
- 2～4位数の金額の大小の比較や計算機での計算の結果から、予算内で買えるか判断したり、レシートを見て、お小遣い帳に収支と残金の記入をしたりする。(数学)
- 伝える相手や話す目的を意識して、自分の伝えたいことを明確に話したり、聞いたことを書き留めたり、分からないことを聞き返したりする。(国語)

4. 単元の計画 (全10時間)

次	時	日時	学習内容		指導内容
			(スキルアップグループ)	(チャレンジグループ)	
1	1	9/13	○これからの学習を知ろう。		家庭科 消費生活 数学科 数と計算 国語科 聞くこと話すこと
	2	②③④	○家庭でのくらしに必要な日用品について考えよう。 ○1000円以内で買えそうな、自分に必要な日用品を挙げてみよう。	○買い物の仕方を知ろう。	
	3				

2	4 5	9/14 ⑤⑥	○コンビニエンスストアと家電量販店に行き、品揃えと値段を調べよう。	○買い物の仕方を復習しよう。 ○先生と一緒に買い物をしよう。 ○お小遣い帳をつけよう。	家庭科 消費生活 数学科 数と計算 国語科 聞くこと話すこと
3	6 7	9/17 ⑤⑥	○店舗に行き、品揃えと値段を調べ、買い物の計画を立てよう。	○買い物の仕方を確認しよう。 ○一人で買い物をしよう。 ○お小遣い帳をつけよう。	家庭科 消費生活 数学科 数と計算 国語科 聞くこと話すこと
4	8 9	9/21 ⑤⑥ 【本時】	○実際に買ってみよう。	○買い物の仕方を確認しよう ○一人で買い物をやり遂げよう。 ○お小遣い帳をつけよう。	家庭科 消費生活 数学科 数と計算 国語科 聞くこと話すこと
5	10 11	9/24 ⑤⑥	○学習をふりかえろう。	○学習をふりかえろう。	家庭科 消費生活 数学科 数と計算 国語科 聞くこと話すこと

5 単元の個人目標

(1) スキルアップグループ

生徒	個人目標
m	<p>①日常生活に必要なものを理解し、予算内に購入するために必要な情報を偏りなく収集して整理、比較検討し購入することができる。(家庭 高1段階)</p> <p>②レシートに記載してある金額を見ながら、もとのお金から購入したものの総額や残金の見通しを立てながら実際に計算し、収支報告書に記載することができる。(数学 高1段階)</p> <p>③購入するものの計画やお店での購入時に、話の中心や話したいことがずれないように話の構成を考えることができる。(国語 高1段階)</p>
n	<p>①日常生活に必要なものを理解し、予算内に購入することができる。(家庭 高1段階)</p> <p>②複数のレシートを見ながら、購入したものの総額やもとのお金からの残金を求める式を考えたり、筆算や計算機を使って加減法の計算をしたりして、収支報告書に記載することができる。(数学 中2段階)</p> <p>③生活に係るものや購入の選択に参考になることを、話の中からメモを取ったり質問したりすることができる。(国語 中1段階)</p>
o	<p>①日常生活に必要なものを理解し、予算内に購入するために必要な情報を偏りなく収集して整理、比較検討し購入することができる。(家庭 高1段階)</p> <p>②レシートに記載してある金額を見ながら、もとのお金から購入したものの総額や残金の見通しを立てながら実際に計算し、収支報告書に記載することができる。(数学 高1段階)</p> <p>③購入するものの計画やお店での購入時に、話の中心や話したいことがずれないように話の構成を考えることができる。(国語 高1段階)</p>

p	<p>①日常生活に必要なものを理解し、予算内に購入するために必要な情報を偏りなく収集して整理、比較検討し購入することができる。(家庭 高1段階)</p> <p>②レシートに記載してある金額を見ながら、もとのお金から購入したものの総額や残金の見通しを立てながら実際に計算し、収支報告書に記載することができる。(数学 高1段階)</p> <p>③購入するものの計画やお店での購入時に、話の中心や話したいことがずれないように話の構成を考慮することができる。(国語 高1段階)</p>
q	<p>①日常生活に必要なものを理解し、予算内に購入するために必要な情報を偏りなく収集して整理、比較検討し購入することができる。(家庭 高1段階)</p> <p>②レシートに記載してある金額を見ながら、もとのお金から購入したものの総額や残金の見通しを立てながら実際に計算し、収支報告書に記載することができる。(数学 高1段階)</p> <p>③購入するものの計画やお店での購入時に、話の中心や話したいことがずれないように話の構成を考慮することができる。(国語 高1段階)</p>
r	<p>①日常生活に必要なものの購入のために商品を比較検討し、予算に収まるように計画を立てて買うことができる。(家庭 高1段階)</p> <p>②レシートを見て、加法及び減法の計算、収支報告書の記入を一人で行い、収支の把握の仕方が分かる。(数学 中2段階)</p> <p>③伝える相手や話す目的を意識して、自分の伝えたいことを明確に話したり、聞いたことを書き留めたり、分からないことを聞き返したりすることができる。(国語 中2段階)</p>
s	<p>①日常生活に必要なものの購入のために商品を比較検討し、予算に収まるように計画を立てて買うことができる。(家庭 高1段階)</p> <p>②レシートを見て、加法及び減法の計算、収支報告書の記入を一人で行い、収支の把握の仕方が分かる。(数学 中2段階)</p> <p>③伝える相手や話す目的を意識して、自分の伝えたいことをわかりやすく話したり、聞いたことを書き留めたり、分からないことを聞き返したりする。(国語 中2段階)</p>

(2) チャレンジグループ

生徒	個人目標
t	<p>①買い物に係る一連の手順を自分から質問しながら、購入することができる。(家庭分野 中1段階)</p> <p>②値札やレシートの3位数までの金額を見て、支払いに必要な硬貨を提示したり、合計金額を読んだりするとともに、お小遣い帳に残高を計算して記入することができる。(数学 中1段階)</p> <p>③丁寧な言葉遣いで質問や支払いに必要な受け答え、挨拶をすることができる。(国語 中1段階)</p>
u	<p>①買い物に係る一連の手順のタイミングなどを自分から質問しながら、購入することができる。(家庭分野 中1段階)</p> <p>②値札やレシートの3位数までの金額を見て、支払いに必要な硬貨を提示したり、合計金額を読んだりするとともに、お小遣い帳に残高を計算して記入することができる。(数学 中1段階)</p> <p>③丁寧な言葉遣いで質問や支払いに必要な受け答え、挨拶をすることができる。(国語 中1段階)</p>
v	<p>①買い物に係る一連の手順を理解し、一人で購入することができる。(家庭分野中1段階)</p> <p>②値札やレシートの3位数までの金額を見て、支払いに必要な硬貨を提示したり、合計金額を読んだりするとともに、お小遣い帳に残高を計算して記入することができる。(数学 中1段階)</p>

	③丁寧な言葉遣いで質問や支払い必要な受け答え, 挨拶をすることができる。(国語 中1段階)
w	①「買い物かごをもつ, 商品をかごに入れる, お金をセルフレジに入れる, おつりとレシートを財布に入れる, 商品を受けとる」動作を, 一部支援を受けながら行うことができる。(生活1段階) ②2つの商品をから買いたい方を選び, 身振りで教師に伝えることができる。(国語 小1段階)
x	①買い物に係わる一連の手順を理解し, 一人で買い物をするすることができる。(家庭分野 中1段階) ②教師や友達と一緒に, 計算機や数直線ボードを活用して, 選んだ商品が予算内で買えるかどうか判断し, 買い物後, お小遣い帳に残金を記録することができる。(数学 中1段階) ③コミュニケーションカードと話し言葉を併用して, 店員さんに買い物に必要なことを伝えることができる。(国語 小3段階)
y	①複数枚のレシートを見て, お小遣い帳の記入をし, 計算機で計算して, 残金を記録する。(数学 中2段階) ②買い物の練習時やお小遣い帳の記入時に, わからないことがあったときに, 丁寧な言葉遣いで教師に尋ねる。(国語 中2段階)
z	①買い物に係わる一連の手順を理解し, 一人で買い物をするすることができる。(家庭分野 中1段階) ②教師や友達と一緒に, 計算機や数直線ボードを活用して, 選んだ商品が予算内で買えるかどうか判断し, 買い物後, お小遣い帳に残金を記録することができる。(数学 中1段階) ③身振りやコミュニケーションカードを併用して, 店員さんに買い物に必要なことを伝えることができる。(国語 小3段階)
α	①一部支援を受けながら, 買い物に係わる一連の手順を行うことができる。(家庭分野 中1段階) ②教師と一緒に, 選んだ商品が予算内で買えるかどうか判断し, 買い物後, お小遣い帳に残金を記録する。(数学 中1段階) ③身振りや言葉で, 教師に買いたい物を伝える。(国語 小3段階)

6 本時のねらい (各教科等)

<スキルアップグループ>

- 支払の仕方の特徴が分かり, 決まった予算の中から計画に沿って購入することができる。(家庭)
- レシートを見て, お小遣い帳に収支を記入し, 加法及び減法の計算をして, 残金の記入をする。(数学)

- 伝える相手や話す目的を意識して, 自分の伝えたいことを明確に話したり, 聞いたことを書き留めたり分からないことを聞き返したりする。

<チャレンジグループ>

- 買い物かごの扱い方, 支払いや釣り銭のなどの受け取り方など, 買い物に係わる一連の手順を理解し, 一人, もしくは一部支援を受けながら買い物をする。(家庭)
- 2~3位数の金額の大小の比較や計算機での計算の結果から, 予算内で買えるか判断したり, レシートを見て, お小遣い帳に収支と残金の記入をしたりする。(数学)
- 買い物に必要なことを明確に相手に伝えたり, 身振りで伝えたりする。(国語)

7. 本時の個人目標

(1) スキルアップグループ

生徒	個人目標
m	<p>① 予算や実際の値段や目的を考えながら商品を選択し、予算内で購入することができる。(家庭 高1段階)</p> <p>② レシートに記載してある金額を見ながら、もとのお金から購入したものの総額や残金の見通しを立てながら実際に計算し、お小遣い帳に記載することができる。(数学 高1段階)</p> <p>③ 一連の学習で感じたことを、話の中心や話したいことがずれないように話の構成を考えることができる。(国語 高1段階)</p>
n	<p>① 予算や計画に沿って商品を選択、相談し、予算内に購入することができる。(家庭 高1段階)</p> <p>② 複数のレシートを見ながら、購入したものの総額やもとのお金からの残金を求める式を考えたり、計算機を使って加減法の計算をしたりして、お小遣い帳に記載することができる。(数学 中2段階)</p> <p>③ 話の内容が分からないときには聞き返し内容の大体を捉えたり、相手に伝わるように話し方を工夫したりすることができる。(国語 中1段階)</p>
o	<p>① 予算や実際の値段や目的を考えながら商品を選択し、予算内で購入することができる。(家庭 高1段階)</p> <p>② レシートに記載してある金額を見ながら、もとのお金から購入したものの総額や残金の見通しを立てながら実際に計算し、お小遣い帳に記載することができる。(数学 高1段階)</p> <p>③ 一連の学習で感じたことを、話の中心や話したいことがずれないように話の構成を考えることができる。(国語 高1段階)</p>
p	<p>① 予算や実際の値段や目的を考えながら商品を選択し、予算内で購入することができる。(家庭 高1段階)</p> <p>② レシートに記載してある金額を見ながら、もとのお金から購入したものの総額や残金の見通しを立てながら実際に計算し、お小遣い帳に記載することができる。(数学 高1段階)</p> <p>③ 購入するものの計画やお店での購入時に、話の中心や話したいことがずれないように話の構成を考えることができる。(国語 高1段階)</p>
q	<p>① 予算や実際の値段や目的を考えながら商品を選択し、予算内で購入することができる。(家庭 高1段階)</p> <p>② レシートに記載してある金額を見ながら、もとのお金から購入したものの総額や残金の見通しを立てながら実際に計算し、お小遣い帳に記載することができる。(数学 高1段階)</p> <p>③ 購入するものの計画やお店での購入時に、話の中心や話したいことがずれないように話の構成を考えることができる。(国語 高1段階)</p>
r	<p>① 予算を超えないように品物を選んで購入し、残金やレシートの管理ができる。(家庭 高1段階)</p> <p>② 複数枚のレシートから必要な情報を読み取り、お小遣い帳の記入を一人で行い、収支の把握の仕方が分かる。(数学 中2段階)</p> <p>③ 話し合いにおいて、自分の伝えたいことを明確に話し、分からないことをたずねたり、聞いたことを書き留めたりすることができる。(国語 中2段階)</p>
s	<p>① 予算を超えないように品物を選んで購入し、残金やレシートの管理ができる。(家庭 高1段階)</p> <p>② 複数枚のレシートから必要な情報を読み取り、お小遣い帳の記入を一人で行い、収支の把握の仕方が分かる。(数学 中2段階)</p> <p>③ 話し合いにおいて、自分の伝えたいことを明確に話し、分からないことをたずねたり、聞いたことを書き</p>

	留めたりすることができる。(国語 中 2 段階)
--	--------------------------

(2) チャレンジグループ

生徒	個人目標
t	①買い物に係る一連の手順を自分から質問しながら、購入することができる。(家庭分野 中 1 段階)
	②値札やレシートの 3 位数までの金額を見て、支払いに必要な硬貨を提示したり、合計金額を読んだりするとともに、お小遣い帳に残高を計算して記入することができる。(数学 中 1 段階)
	③丁寧な言葉遣いで質問や支払い必要な受け答え、挨拶をすることができる。(国語 中 1 段階)
u	①買い物に係る一連の手順のタイミングなどを自分から質問しながら、購入することができる。(家庭分野 中 1 段階)
	②値札やレシートの 3 位数までの金額を見て、合計金額を読み、お小遣い帳に残高を計算して記入することができる。(数学 中 1 段階)
	③丁寧な言葉遣いで質問や支払いに必要な受け答え、挨拶をする。(国語 中 1 段階)
v	①買い物に係る一連の手順を理解し、一人で購入することができる。(家庭分野 中 1 段階)
	②値札やレシートの 3 位数までの金額を見て、合計金額を読み、お小遣い帳に残高を計算して記入することができる。(数学 中 1 段階)
	③丁寧な言葉遣いで質問や支払いに必要な受け答え、挨拶をすることができる。(国語 中 1 段階)
w	①「買い物かごをもつ、商品をかごに入れる、お金をセルフレジに入れる、おつりとレシートを財布に入れる、商品を受けとるの動作を、一部支援を受けながら行うことができる。(生活 1 段階)
	②2 つの商品から買いたい方を選び、身振りで教師に伝えることができる。(国語 小 1 段階)
x	①買い物に係る一連の手順を覚え、一人で買い物をすることができる。(家庭分野 中 1 段階)
	②教師や友達と一緒に、計算機や数直線ボードを活用して、選んだ商品が予算内で買えるかどうか判断し、買い物後、お小遣い帳に一人で残金を記録することができる。(数学 中 1 段階)
	③コミュニケーションカードと話し言葉を併用して、店員さんにレジ袋の必要の有無を伝えたり、セルフレジの操作でわからないこと尋ねたりすることができる。(国語 小 3 段階)
y	①複数枚のレシートを見て、お小遣い帳の記入をし、計算機で計算して、残金を記録することができる。(数学 中 2 段階)
	②買い物の練習時やお小遣い帳の記入時に、わからないことがあったときに、丁寧な言葉遣いで教師に尋ねることができる。(国語 中 2 段階)
z	①買い物に係る一連の手順を覚え、一人で買い物をすることができる。(家庭分野 中 1 段階)
	②教師や友達と一緒に、計算機や数直線ボードを活用して、選んだ商品が予算内で買えるかどうか判断し、買い物後、お小遣い帳に一人で残金を記録することができる。(数学 中 1 段階)
	③身振りと話し言葉を併用して、店員さんにレジ袋の必要の有無を伝えたり、セルフレジの操作で、わからないこと尋ねたりすることができる。(国語 小 3 段階)
α	①一部支援を受けながら、買い物に係る一連の手順を行うことができる。(家庭分野 中 1 段階)
	②教師と一緒に、選んだ商品が予算内で買えるかどうか判断し、買い物後、お小遣い帳に残金を記録することができる。(数学 中 1 段階)
	③身振りや言葉で、教師に、買いたい物を伝えることができる。(国語 小 3 段階)

8. 本時の展開

(1) スキルアップグループ

時間	学習活動	指導・支援
13:15	1. 初めの挨拶をする。 2. 今日の学習内容を確認する。	<ul style="list-style-type: none"> ・教師の方を見ているか、背筋がのびているか確認してから、挨拶をする。 ・店舗に行き、決まった予算の中から自分の計画に沿って日用品を購入することを伝える。 ・小遣い帳に記入するためレシートを保管するように伝える。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">めあて：決まった予算の中で必要なものを買おう。</div>		
13:20	3. 買い物に行く。 (1) コンビニエンスストア 13:40 開始 13:50 集合・移動 (2) 家電量販店 14:00 開始 14:20 集合・学校に移動	<ul style="list-style-type: none"> ・グループ全員で各店舗へ移動し、各店舗での集合時刻を確認しておく。 ・購入計画通りにいかない場合、残金を確認しながら買わない商品を選択、判断して予算を超えないよう助言する。 ・必要に応じて電卓を活用させる。
14:40	4. レシートを見て、お小遣い帳をつける。	<ul style="list-style-type: none"> ・買い物レシートを見て、小遣い帳の項目に必要な情報を記入できるように支援する。
14:50	5. 今日の学習をふりかえる。	<ul style="list-style-type: none"> ・支払い、釣銭の受け取り、レシートの管理ができたか ・残金を確かめて予算内で購入できたか ・計画に沿った買い物ができたか ・予算を超えないように購入を変更、中止したため計画通りにならなかった場合は、良かった点として評価する。 ・計画的な金銭管理が必要であることを伝える。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">まとめ：計画的にお金を管理することが必要である。</div>		
14:55	6. 次時の学習を知る。 7. 終わりの挨拶をする。	<ul style="list-style-type: none"> ・次回はまとめを行うことを伝える。 ・教師の方を見ているか、背筋がのびているか確認してから、挨拶をする。

(2) チャレンジグループ

時間	学習活動	指導・支援
13:15	1 初めの挨拶をする。 2 今日の学習内容を確認する。	<ul style="list-style-type: none"> ・教師の方を見ているか、背筋がのびているか確認してから、挨拶をする。 ・前時の学習を思い出す言葉かけをしながら、めあてを提示する。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">めあて：300円以内で、自分の好きなものを2つまで選んで、一人で買おう。</div>		

13:20	<p>3 教室で買い物の練習をする。</p> <p>(1)商品を2つ選ぶ。</p> <p>(2)合計金額を計算機で出し、予算と比較する。</p> <p>(3)模擬レジで、支払いの手順や言葉の使い方を練習する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・2人ずつ行う。 ・商品を2つまで選んでいいことを伝える。 ・T2は、計算機と「買えるかな？ボード(数直線ボード)」を活用して、300円で買えるかどうかを生徒と一緒に考える。 ・T1は、店員役になり、レジでの動作、言葉遣いを指導する。 ・T2は、模擬買い物が終わった生徒の練習用お金、レシートを回収する。
13:40	<p>4 コンビニエンスストアに買い物に行く。</p> <p>(1)店まで歩く。</p> <p>(2)店内に入りカゴを持つ。</p> <p>(3)商品を2つまで選ぶ。 (生徒wは、提示された商品を2つから1つを選ぶ。)</p> <p>(4)300円で買えるかどうか計算する。</p> <p>(5)支払いをする。</p> <p>(6)学校まで歩いて帰る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・出発する前に買い物用のお金を渡し、行くときの注意事項を確認する。 ・生徒の体調、ペースに配慮しながら歩いて行く。 ・店内に入った後は、見守り中心の支援を行い、必要な時だけアドバイスなどを行う。 ・商品を選んだ生徒に、計算機と「買えるかな？ボード」を活用し、予算内で買えるかどうか考えるように促す。 ・レジでの支払いを支援する。買い物が終わった生徒は、順次、教師と一緒に店外に出るようにし、安全に留意しながら把握する。 ・安全に留意しながら、学校に帰る。
14:00	<p>5 休憩する。買ってきた物を飲食したり、楽しんだりする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・体調に留意しながら、休憩を促す。買ってきた物の飲食は量などに留意しながら、時間を決めて行う。
14:15	<p>6 お小遣い帳をつける。</p> <p>(1)レシートをノートに貼り、支払い額にマーカーで印をつける。</p> <p>(2)計算機を使って残高を計算する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・レシートをノートに貼り、支払い額にマーカーで印をつけるように促す。 ・「予算－支払い額」の計算式を書き、残高を出すように促す。 ・今日の学習の感想を尋ねる。 ・今日で買い物は終わり、次時はまとめをすることを伝える。
14:35	<p>7 ふり返りをする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・教師の方を見ているか、背筋がのびているか確認してから、挨拶をする。
14:45	<p>8 次時の学習を知る。</p>	
14:55	<p>9 終わりの挨拶をする。</p>	

9. 本時の個人目標の評価

(1) スキルアップグループ

生徒	個人目標	評価	評価の根拠, 次回に向けて
m	①予算や実際の値段や目的を考えながら商品を選択し、予算内で購入することができる。(家庭 高1段階)	○	①予算内で買い物ができた。使用目的を考えながら商品を選ぶことができた。
	②レシートに記載してある金額を見ながら、もとのお金から購入したものの総額や残金の見通しを立てながら実際に計算し、お小遣い帳に記載することができる。(数学 高1段階)	○	②レシートに記載してある支払合計とお釣りの金額を見て残金を計算し、必要な情報を収支報告書に記入することができた。
	③一連の学習で感じたことを、話の中心や話したいことがずれないように話の構成を考えることができる。(国語 高1段階)	○	③率直な感想を述べることができた。学習を通しての気づきや感想には触れなかった。
n	①予算や計画に沿って商品を選択、相談し、予算内に購入することができる。(家庭 高1段階)	○	①予算内に納めることを意識して、教師に相談しながら商品を選択することができた。
	②複数のレシートを見ながら、購入したものの総額やもとのお金からの残金を求める式を考えたり、筆算や計算機を使って加減法の計算をしたりして、お小遣い帳に記載することができる。(数学 中2段階)	△	②レシートに記載してある支払合計とお釣りの金額を読み取る過程で支援が必要だった。釣り銭と計算した残額が合わなかった。
	③話の内容が分からないときには聞き返し内容の大体を捉えたり、相手に伝わるように話し方を工夫したりすることができる。(国語 中1段階)	△	③日用品に対する理解が難しかった。質問することはできたが内容を理解することが難しかった。
o	①予算や実際の値段や目的を考えながら商品を選択し、予算内で購入することができる。(家庭 高1段階)	○	①店内で自分にとって必要な日用品を見つけて予算内で購入できた。
	②レシートに記載してある金額を見ながら、もとのお金から購入したものの総額や残金の見通しを立てながら実際に計算し、お小遣い帳に記載することができる。(数学 高1段階)	△	②レシートに記載してある支払合計額とお釣りの金額に注目せずに税抜き価格を計算したため算出した額と残金が合わずに困る場面があった。
	③一連の学習で感じたことを、話の中心や話したいことがずれないように話の構成を考えることができる。(国語 高1段階)	○	③自分にとって役立つ日用品を見つけることができた達成感を分かりやすく話にまとめて発表することができた。
p	①予算や実際の値段や目的を考えながら商品を選択し、予算内で購入することができる。(家庭 高1段階)	○	①購入予定の商品が売り切れていたため、予定を変更して商品を選び、予算内で購入することができた。
	②レシートに記載してある金額を見ながら、もとのお	○	②レシートに記載してある支払合計とお

	金から購入したものの総額や残金の見通しを立てながら実際に計算し、お小遣い帳に記載することができる。(数学 高1段階)		釣りの金額を見て残金を計算し、必要な情報を収支報告書に記入することができた。
	③購入するものの計画やお店での購入時に、話の中心や話したいことがずれないように話の構成を考慮することができる。(国語 高1段階)	○	③自分の生活に必要な日用品について、多くの品物をリストアップして積極的に伝え、質問することができた。
q	①予算や実際の値段や目的を考えながら商品を選択し、予算内で購入することができる。(家庭 高1段階)	○	①予算内に収めるために合計額を計算しながら日用品を選び、予算内で購入することができた。
	②レシートに記載してある金額を見ながら、もとのお金から購入したものの総額や残金の見通しを立てながら実際に計算し、お小遣い帳に記載することができる。(数学 高1段階)	○	②レシートに記載してある支払合計とお釣りの金額を見て残金を計算し、必要な情報を収支報告書に記入することができた。
	③購入するものの計画やお店での購入時に、話の中心や話したいことがずれないように話の構成を考慮することができる。(国語 高1段階)	○	③購入計画を立てる際に、自分の生活や趣味を考えながら買いたい物を教師に伝えることができた。
r	①予算を超えないように品物を選んで購入し、残金やレシートの管理ができる。(家庭 高1段階)	○	①予算内に収めるように合計額を計算して購入し、残金とレシートの管理ができた。
	②複数枚のレシートから必要な情報を読み取り、お小遣い帳の記入を一人で行い、収支の把握の仕方が分かる。(数学 中2段階)	○	②レシートに記載してある支払合計額とお釣りの金額を読み取り、収支報告書を一人で作成することができた。
	③話し合いにおいて、自分の伝えたいことを明確に話し、分からないことをたずねたり、聞いたことを書き留めたりすることができる。(国語 中2段階)	△	③買い物を計画するとき、自分の考えをはっきり伝えることができずに指示を待つことが多かった。
s	①予算を超えないように品物を選んで購入し、残金やレシートの管理ができる。(家庭 高1段階)	△	①自分に必要な学用品を予算内で選び、購入することができたが、レシートの管理ができなかった。
	②複数枚のレシートから必要な情報を読み取り、お小遣い帳の記入を一人で行い、収支の把握の仕方が分かる。(数学 中2段階)	△	②気持ちが不安定になり、レシートを破損させたため、支払合計額を読み取れず、収支報告書の記入ができなかった。
	③話し合いにおいて、自分の伝えたいことを明確に話し、分からないことをたずねたり、聞いたことを書き留めたりすることができる。(国語 中2段階)	△	③買い物当日、店内で教師に質問して日用品を選んだ。

評価は○と△の2段階評価

(2) チャレンジグループ

生徒	個人目標	評価	評価の根拠, 次回に向けて
t	①買い物に係る一連の手順を自分から質問しながら、購入することができる。(家庭分野 中1段階)	○	①「どこにお金いれますか?」と硬貨の投入口の場所に対して質問し、商品を購入することができた。
	②値札やレシートの3位数までの金額を見て、支払いに必要な硬貨を提示したり、合計金額を読んだりするとともに、お小遣い帳に残高を計算して記入することができる。(数学 中1段階)	△	②合計金額の把握が難しく、折れ線グラフによる提示でも理解を促すことができずに課題が残った。3桁目だけに焦点をあて、2の数字になると購入できることは理解できた。
	③丁寧な言葉遣いで質問や支払いに必要な受け答え、挨拶をすることができる。(国語 中1段階)	○	③支払いに関する定型文を練習することで丁寧な言葉遣いで受け答えができた。
u	①買い物に係る一連の手順のタイミングなどを自分から質問しながら、購入することができる。(家庭分野 中1段階)	○	①買い物の回数を重ねるごとに、買い物の手順を覚えて、一人で買い物することができた。
	②値札やレシートの3位数までの金額を見て、合計金額を読み、お小遣い帳に残高を計算して記入することができる。(数学 中1段階)	○	②合計金額に合わせて、100円玉の枚数を変えることができた。また、お小遣い帳に残高を計算機で計算して記入できた。
	③丁寧な言葉遣いで質問や支払いに必要な受け答え、挨拶をすることができる。(国語 中1段階)	△	③「～ができた。」と言った言葉が多く、丁寧な言葉遣いの練習が必要であり、課題である。
v	①買い物に係る一連の手順を理解し、一人で購入することができる。(家庭分野 中1段階)	○	①エコバックや金銭のやり取りを練習で身につけ、実店舗においても一人で商品を選び購入できた。
	②値札やレシートの3位数までの金額を見て、合計金額を読み、お小遣い帳に残高を計算して記入することができる。(数学 中1段階)	○	②合計金額のところにマーカーで印を付けておくことで、金額が明確になった。また、小遣い帳に記入することができた。
	③丁寧な言葉遣いで質問や支払いに必要な受け答え、挨拶をすることができる。(国語 中1段階)	○	③買い物練習で練習した言葉遣いを実店舗においても、遣うことができた。
w	①「買い物かごをもつ、商品をかごに入れる、お金をセルフレジに入れる、おつりとレシートを財布に入れる、商品を受けとる」動作を、一部支援を受けながら行うことができる。(生活 1段階)	○	①練習を重ねるごとに、買い物に必要な動作を覚えることができた。また、財布にレシートや小銭を入れることができた。
	②2つの商品から買いたい方を選び、身振りで教師に伝えることができる。(国語 小1段階)	○	②教師が2つのお菓子を提示すると、買いたい方のお菓子を掴むことができた。
x	①買い物に係わる一連の手順を覚え、一人で	○	①欠席のため、実際の店での買い物は、本

	買い物をすることができる。(家庭分野 中1段階)		時が初めてだったが、模擬買い物を2回経験していたことで、1人で買い物することができた。
	②教師や友達と一緒に、計算機や数直線ボードを活用して、選んだ商品が予算内で買えるかどうか判断し、買い物後、お小遣い帳に一人で残金を記録することができる。(数学 中1段階)	○	②教師がペンで数直線ボード上に金額を示すことで、予算内で買えるかどうか判断することができた。
	③コミュニケーションカードと話し言葉を併用して、店員さんにレジ袋の必要の有無を伝えたり、セルフレジの操作でわからないこと尋ねたりすることができる。(国語 小3段階)	○	③身振りで、店員さんにレジ袋の必要の有無を伝えることができた。
y	①複数枚のレシートを見て、お小遣い帳の記入をし、計算機で計算して、残金を記録する。(数学 中2段階)	—	不参加
	②買い物の練習時やお小遣い帳の記入時に、わからないことがあったときに、丁寧な言葉遣いで教師に尋ねることができる。(国語 中2段階)	—	不参加
z	①買い物に係わる一連の手順を覚え、一人で買い物をする。(家庭分野 中1段階)	○	①手順を覚え、1人で買い物することができた。
	②教師や友達と一緒に、計算機や数直線ボードを活用して、選んだ商品が予算内で買えるかどうか判断し、買い物後、お小遣い帳に一人で残金を記録することができる。(数学 中1段階)	○	②商品の値段をよく見て、計算機で合計金額を確認し、予算内で買えるのか判断することができた。また、お小遣い帳に一人で記入することができた。
	③身振りと話し言葉を併用して、店員さんにレジ袋の必要の有無を伝えたり、セルフレジの操作で、わからないこと尋ねたりすることができる。(国語 小3段階)	○	③事前にレジでのやり取りの文言を練習することで、店員さんにレジ袋が不必要だと伝えることができた。
α	①一部支援を受けながら、買い物に係わる一連の手順を行うことができる。(家庭分野 中1段階)	—	不参加
	②教師と一緒に、選んだ商品が予算内で買えるかどうか判断し、買い物後、お小遣い帳に残金を記録することができる。(数学 中1段階)	—	不参加
	③身振りや言葉で、教師に、買いたい物を伝えることができる。(国語 小3段階)	—	不参加

評価は○と△の2段階評価

10. 授業改善について（主体的・対話的で深い学びの視点で）

〈スキルアップグループ〉

- 今後も将来の自立した生活に必要な身辺自立や家事について認識を深めるとともに、収入と支出、生活費の内訳や物価、サービスの価格について学んでいく必要がある。
- 買い物での商品選びや支払い、お釣りとレシートの受け取り、金銭の管理について経験を重ねて技能を身に付ける。
- 今回の買い物学習では、一定額の現金を生徒一人一人に支給し、残金を返金するようにしたため、生徒は予算をできるだけ使いきることを考えながら購入計画を立てた。今後は自分が働いて得たお金を大切に使うために、収入と支出のバランスを考え、節約や貯蓄を意識しながら必要な買い物を行い、金銭を管理する力を身に付けていく必要がある。

〈チャレンジグループ〉

- 予算と買いたい物の金額を比較するために用意した「数直線ボード」は、当初、生徒自らが記入し、活用することを想定していたが、数直線の学習経験がほぼなかった生徒たちには難しかった。そのため、教師が記入し、それを生徒が見て比較する、という手立てをとったが、今後、生徒達が自立的な買い物を目指すためには、自分で予算内に収めることが必要である。補助具など教材の工夫や、数学の時間の指導と連携しての指導を通して、概念形成を図っていくことが大切である。
- 今回の単元で学習し、できるようになったことを、保護者と共有し、生徒の実際の生活においても生かされていくことが重要であり、将来の生活につながると考える。

11 単元の個人目標（各教科・領域等）と評価

(1) スキルアップグループ

生徒	個人目標	評価 今後に向けて	
m	①日常生活に必要なものを理解し、予算内に購入するために必要な情報を偏りなく収集して整理、比較検討し購入することができる。(家庭 高1段階)	ア	家事や暮らしから、日頃から補充が必要なものがあることに気づき、実際の商品の値段を見て予算を意識した。
		イ	家事からの連想やタブレット端末の利用によって、生活必需品、日用品の具体的な用具などについて考えた。
		ウ	予算内に購入できる商品の値段を予想し、他の生徒に共有しようとした。
		今後に向けて 購入したものがスキンケア用品、学習用品、入浴剤だったため、実際に自分の家で必要なものを調べ購入計画を立てる。	
	②レシートに記載してある金額を見ながら、もとのお金から購入し	ア	収支報告書の項目である収入、支出を知った。
		イ	レシートから、収支報告書に必要な支出の金額を転記し、計算

	たものの総額や残金の見通しを立てながら実際に計算し、収支報告書に記載することができる。(数学 高1段階)		上と実際の釣り銭を確認した。
		ウ	友達と総額や残金の話をし、自分が友達の商品を購入した際の金額などを想定した。
			今後に向けて 予算額と実際の総額との比較をし、収支のバランスを考える。
	③購入するものの計画やお店での購入時に、話の中心や話したいことがずれないように話の構成を考えることができる。(国語 高1段階)	ア	日用品に当てはまるか、必要な理由を意識した。
		イ	欲しい商品が日用品に当てはまるかを尋ね、購入した商品の理由を加えて説明した。
		ウ	友達が商品を選んでいる様子を見てよく話しかけたり、購入したものを尋ねたりした。
			今後に向けて 支出の項目について具体的に調べる。
n	①日常生活に必要なものを理解し、予算内に購入することができる。(家庭 高1段階)	ア	興味関心のあるものをきっかけし、日用品の具体的なものを知った。
		イ	お店で購入希望の商品の値札見て電卓で総額を計算し、予算に合わせて数種類ある商品の中から商品を決めて購入した。
		ウ	購入予定だった延長コードの必要な長さを、定規を使って決めた。
			今後に向けて 家族が必要なものを考え、また、頼まれた商品を基にして、予算を考えて購入する。
	②複数のレシートを見ながら、購入したものの総額やもとのお金からの残金を求める式を考えたり、計算機を使って加減法の計算をしたりして、収支報告書に記載することができる。(数学 中2段階)	ア	レシートから収支報告書に転記する項目を教師と確認しながら知った。
		イ	収入と支出から加減法のどちらかを教師に尋ねて一緒に考えながら、電卓で残金を計算することができた。
		ウ	報告書の残金と実際の釣り銭に差がありそうなことに気づき、教師に確認を求めた。
			今後に向けて 封筒に入れていた釣り銭が足りず、よく探すと買い物袋の中に入っていたため、金銭の紛失防止について考える。
	③生活に必要なものを考え、購入の選択に参考になることを、話の中からメモを取ったり質問したりすることができる。(国語 中1段階)	ア	友達の発言や教師の問いかけによく反応して考え、自分の考えていたもの以外のものを知った。
		イ	自分の興味のあるものや友達の発言に付けくわえて質問し、購入したいものをメモした。
		ウ	タブレット端末で画像やサイトを検索して、日用品の種類につ

			いて気付いたことをよく質問した。	
			今後に向けて	
			メモをとる良さやポイントを知り、生活にいかすことができる。	
o	①日常生活に必要なものを理解し、予算内に購入するために必要な情報を偏りなく収集して整理、比較検討し購入することができる。(家庭 高1段階)	ア	日常生活に必要な日用品を、一日の生活の流れから考えられることを知った。	
		イ	生活の流れから日用品を思いつき、タブレット端末での検索や友達の発言で日用品の種類を幅を広げ、お店の品揃えを見て、購入計画を固めた。	
		ウ	自分から話しかけ、友達の購入計画や購入したものに興味を持って調べた。	
			今後に向けて	
				支出の項目について知り、優先順位を考える。
	②レシートに記載してある金額を見ながら、もとのお金から購入したものの総額や残金の見通しを立てながら実際に計算し、収支報告書に記載することができる。(数学 高1段階)	ア	レシートに税抜き価格の記載があることや、それが収支報告書の項目に当てはまらないことを知った。	
		イ	レシートの項目から転記し支出金額と、実際の釣り銭に違いがあり、教師と一緒にレシートの項目を見直し、必要な項目を記載した。	
		ウ	釣り銭との金額の差を自分で繰り返し確認し、原因を探ろうとした。	
			今後に向けて	
				レシートの記載の様式を知り、必要に応じて金額を読み取る。
	③購入するものの計画やお店での購入時などに、話の中心や話したいことがずれないように話の構成を考えることができる。(国語 高1段階)	ア	購入した商品の発表で、購入計画時に考えたことや、購入した感想などを加えることで、内容が伝わりやすいことを知った。	
		イ	購入の計画や、お店の商品の品揃えを調べるときに、友達や教師に購入理由などを簡単に話し、発表のときには、商品に応じて理由を加えて説明した。	
ウ		購入した商品の説明の順番を考え、話しやすい方法を考えた。		
		今後に向けて		
			発表などにおいて、質問やアドバイスすることを意識する。	
p	①日常生活に必要なものを理解し、予算内に購入するために必要な情報を偏りなく収集して整理、比較検討し購入することができる。(家庭 高1段階)	ア	日用品を使用して生活をしていることが分かった。	
		イ	店内で食品を主に、また友達を参考にして、商品名や値段を書き留めた。	
		ウ	購入予定のものが品切れだったが、替わりのものを購入できた。	
				今後に向けて

		主に食品や友達と同一の商品を購入したため、家庭で頼まれたものを取り入れ、生活をより意識した活動を行う。		
	②レシートに記載してある金額を見ながら、もとのお金から購入したものの総額や残金の見通しを立てながら実際に計算し、収支報告書に記載することができる。 (数学 高1段階)	ア	レシートから収支報告書に転記する項目が分かった。	
		イ	レシートの合計、お釣りの金額を読み取り、実際の釣り銭を計算して確認をした。	
		ウ	教師に確認を求めた。	
		今後に向けて 支出の項目について具体的に調べる。		
	③購入するものの計画やお店での購入時に、話の中心や話したいことがずれないように話の構成を考えることができる。(国語 高1段階)	ア	日用品を意識し、言葉遣いを考えて質問や説明を心掛けた。	
		イ	気になる商品についてその都度教師に質問し、購入の理由などを考えた。	
		ウ	友達に購入した商品を説明するときに、商品の順番を考えた。	
		今後に向けて 発表などにおいて、質問やアドバイスすることを意識する。		
q	①日常生活に必要なものを理解し、予算内に購入するために必要な情報を偏りなく収集して整理、比較検討し購入することができる。(家庭 高1段階)	ア	毎日の生活やタブレット端末での検索、日用品の具体的な商品などを知った。	
		イ	タブレット端末での検索や教師への質問をし、店内の品揃えもよく確認をして購入店舗などを計画した。	
		ウ	意欲的に日用品と考える項目の中から幅広く品物を見て購入した。	
			今後に向けて 頼まれたものや家庭に実際に必要なものを加え、支出のバランスを考える。	
		②レシートに記載してある金額を見ながら、元のお金から購入した物の総額や残金の見通しを立てながら実際に計算し、収支報告書に記載することができる。 (数学 高1段階)	ア	レシートから収支報告書に転記する項目が分かった。
			イ	レシートの合計、お釣りの金額を読み取り、実際の釣り銭を計算して確認をした。
			ウ	レシートの記載や品物について、友達とやり取りしながら、主体的に活動していた。
			今後に向けて 支出の項目について具体的に調べる。	
		③購入計画やお店での購入時に係る話の中心や話したいことがずれないように話の構成を考えることができる。(国語 高1段階)	ア	家で使用しているものと比較し、欲しい理由をを考えて日用品について意識した。
			イ	購入した商品を、理由を加えて友達の前で説明した。
	ウ		計画や購入した商品を、自分から教師にも伝え、友達に説	

	階)		明していた。	
			今後に向けて	
			発表などにおいて、質問やアドバイスすることを意識する。	
r	①日常生活に必要なものの購入のために商品を比較検討し、予算に収まるように計画を立てて買うことができる。(家庭 高1段階)	ア	電卓を使用しながら、予算を超えないことを意識した。	
		イ	いつも使っている商品と比較したり、近くの商品や値札を見たりして商品を選択して購入した。	
		ウ	興味のある商品について質問をして、商品名や値段のメモをとった。	
				今後に向けて
				家族が必要なものを考え、また、頼まれた商品を基にして、予算を考えて購入する。
	②レシートを見て、加法及び減法の計算、収支報告書の記入を一人で行い、収支の把握の仕方が分かる。(数学 中2段階)	ア	レシートから収支報告書に転記する項目が分かった。	
		イ	収入と支出に合わせて金額を記入して計算し、レシートのお釣りと実際の釣り銭を確認した。	
		ウ	一人で収支報告書に記入し、友達の様子を気にしてアドバイスをすることがあった。	
				今後に向けて
				支出の項目について具体的に調べる。
	③伝える相手や話す目的を意識して、自分の伝えたいことを明確に話したり、聞いたことを書き留めたり、分からないことを聞き返したりすることができる。(国語 中2段階)	ア	場や雰囲気への緊張はあるが、発表や質問をすることを意識した。	
		イ	店内で友達の様子を見て、商品の質問をすることや商品名や値段のメモをとることをした。	
ウ		小さい声だったが、友達の前で購入したものを見せながら説明ができた。		
			今後に向けて	
			緊張をほぐす方法を獲得しながら、自信をもってやりとりを行う。	
s	①日常生活に必要なものの購入のために商品を比較検討し、予算に収まるように計画を立てて買うことができる。(家庭 高1段階)	ア	日用品の値段の見通しをつけ、予算内に収まる商品の選択を意識した。	
		イ	店内の商品を見ながら、購入を計画していたもの以外を教師や友達と話しながら、商品を決めて購入した。	
		ウ	友達の様子や教師の話を参考にし、購入したものの情報交換をした。	
				今後に向けて
				日用品についての友達との共有ができなかったため、共有できる時間を作りながら支出の詳しい項目を考える。

②レシートを見て、加法及び減法の計算、収支報告書の記入を一人で行い、収支の把握の仕方が分かる。(数学 中2段階)	ア	収支報告書にレシートの項目を転記することが分かった。
	イ	気持ちが不安定になり、レシートが破損したので、残金を確認した。
	ウ	収支報告書を見て収入や支出の項目について教師に質問した。
	今後に向けて 収支報告書を一人で記入し、支出の項目を詳しく知る。	
③伝える相手や話す目的を意識して、自分の伝えたいことをわかりやすく話したり、聞いたことを書き留めたり、分からないことを聞き返したりすることができる。(国語 中2段階)	ア	友達と教師、発表のときで、話の内容や言葉遣いを分けることを意識した。
	イ	日用品や店内の商品の品揃えについて、友達や教師と話しながら、質問をした。
	ウ	購入した品物の説明を友達が商品が見えるように提示した。
	今後に向けて 話の要点や自分の思い付いたことを書き留めたり、タブレット端末で入力したりして、活動にいかす。	

ア 「知識・技能」 イ 「思考・判断・表現」 ウ 「主体的に学習に取り組む態度」

(2) チャレンジグループ

生徒	個人目標	評価	今後に向けて
t	①買い物に係る一連の手順を自分から質問しながら、購入することができる。 (家庭 中1段階)	ア	支払いから金銭の受け渡しまでの買い物の一連の動作は回数を重ねるごとに習得することができた。
		イ	レジ袋が必要か不必要なのかを考えて、店員さんに「いりません。」と伝えることができた。
		ウ	買い物の金額の過不足が分からない場合は教師に質問することができた。
		今後に向けて 買い物の一連の動作は理解しており、レジ袋の店員さんとのやりとりはできていた。セルフレジ利用時に「どうしたらいいですか?」と質問できた。	
	②値札やレシートの3位数までの金額を見て、支払いに必要な硬貨を提示したり、合計金額を読んだりするとともに、お小遣い帳に残高を計算して記入すること	ア	合計金額の把握が難しかったが、3桁目だけに焦点をあて、2の数字になると購入できることが理解できた。
		イ	金額が3桁になり、計算が難しくなると自発的に計算機を使って計算できた。
		ウ	レシートに蛍光ペンで印をつけて、ワークシートにも同色をつけることで金額を書く場所を覚えて記入するなどの工夫を自分で行っていた。

	ができる。(数学 中1段階)	今後に向けて 3桁の概念がなく、金額の把握は難しかったが、3桁の数字だけで比較することで購入できる金額であるのかを把握できていた。
	③丁寧な言葉遣いで質問や支払いに必要な受け答え、挨拶をすることができる。(国語 中1段階)	ア 買い物で使う文言を練習することで買い物の場面で丁寧な言葉遣いで話すことができた。 イ 会話の受け答えはゆっくりではあるが、言葉を考えて店員さんいレジ袋の有無を伝えることができた。 ウ 自分から店員さんに「お願いします。」と丁寧に挨拶することができた。 今後に向けて 事前に受け答えの文言を練習することで丁寧な言葉遣いができたので、普段から活用する必要がある。
u	①買い物に係る一連の手順のタイミングなどを自分から質問しながら、購入することができる。(家庭 中1段階)	ア ○ロールプレイングをすることで、買い物に係わる手順を知った。 イ ○エコバックの有無を質問に対して答えることができた。 ウ ○自分から好きな商品(お菓子)を選び購入することができた。 今後に向けて 実体験を重ねるごとに一連の手順がスムーズになってきているので、これから実体験を増やしていく必要がある。
	②値札やレシートの3位数までの金額を見て、支払いに必要な硬貨を提示したり、合計金額を読んだりするとともに、お小遣い帳に残高を計算して記入することができる。(数学 中1段階)	ア 3の位に注目して、金額の大小を認識できた。 イ 合計金額をお小遣い帳の欄に考えて記入できた。 ウ 商品の合計金額がわからなかった時に、自分から電卓で計算しようとした。 今後に向けて 金銭の計算は3桁になると難しくなってくるので、計算機の使い方にも課題が残った。3桁の数字に慣れる必要がある。
	③丁寧な言葉遣いで質問や支払いに必要な受け答え、挨拶をすることができる。(国語 中1段階)	ア 定型文を復唱することで丁寧な言葉遣いで受け答えができた。 イ 店員さんからの「レジ袋持ってますか？」の問いかけに、「持ってる。」と普段の言葉で受け答えをしていた。 ウ 購入時に自分から「ありがとうございました。」と感謝を伝えることができた。 今後に向けて オウム返しに近い発語が多いが、丁寧な言葉の定型文を反復練習することで身につくと考えられる。
v	①買い物に係る一連の手順を理解し、一人で購入することができる。(家庭 中1	ア 1人でセルフレジでの支払いができるようになった。 イ レジの操作に間違った時も、落ちついて対応することができた。 ウ 自分から進んで、買い物の行動をすることができていた。

	段階)	今後に向けて 体験を今後も重ねることで、レジでの応対がもっとできるようになると考えられる。セルフレジは3回目は一人で使えるようになった。
	②値札やレシートの3位数までの金額を見て、支払いに必要な硬貨を提示したり、合計金額を読んだりするとともに、お小遣い帳に残高を計算して記入することができる。(数学 中1段階)	ア 金額をおおまかに把握し、合計の概算はできた。 イ 数直線ボードを見て、考えることで、予算と買いたい物の金額を比較することができた。 ウ よく考えている様子が見られた。
	③丁寧な言葉遣いで質問や支払いに必要な受け答え、挨拶をすることができる。(国語 中1段階)	今後に向けて 金額をおおまかに把握しているのので、これから電卓を利用して細かい計算をしていくことで解決できるようにする。 ア レジで使う言葉について理解し、使うことができた。 イ 店員さんの質問に対して、答えることができた。 ウ 落ちついて、受け答えすることができた。
w	①「買い物かごをもつ、商品をかごに入れる、お金をセルフレジに入れる、おつりとレシートを財布に入れる、商品を受けとる」動作を、一部支援を受けながら行うことができる。(生活 1段階)	今後に向けて 経験を重ねることで、定着を図る。 ア 買い物の回数を重ねるごとに、買い物の手順を覚えて、一人で買い物することができた。 イ 練習を重ねることで商品を入れるエコバックを自分で広げることができた。 ウ 練習を重ねるごとに、買い物に必要な動作を覚えることができた。また、財布にレシートや小銭を入れることができた。
	②2つの商品の中から買いたい方を選び、身振りで教師に伝えることができる。(国語 小1段階)	今後に向けて 時間はかかるが、一連の動作を覚えることができた。実践的な学習を取り入れていくことで定着していくと考える。 ア 自分の欲しい商品を触って、相手に伝えることができた。 イ 提示された二つものから自分の欲しい商品を伝えることができた。 ウ 買い物学習を楽しみにしており、お店までの道中を止まらずにいくことができた。
x	①買い物に係わる一連の手順を理解し、一人で買い物ができる。(家庭 中1段階)	今後に向けて 自分の欲しい商品や物を二者択一することを学習機会を増やし、表現する力を培っていくことが大切だと考える。 ア 欠席のため、実際の店での買い物は、1回となったが、模擬買い物を2回することができたため、1人で買い物できるようになった。 イ 値段をよく見て、買うようになった。 ウ 店までの移動時は、車椅子を使用したことで、身体的負担が減り、店内

		では、楽しそうに買い物する様子がみられた。
		今後に向けて
		移動手段に配慮することで、多くの経験が積めるようにする。
	②教師や友達と一緒に、計算機や数直線ボードを活用して、選んだ商品が予算内で買えるかどうか判断し、買い物後、お小遣い帳に残金を記録することができる。 (数学 中1段階)	ア 教師が、数直線ボードにペンで金額を示すことで、予算と買いたい物の金額を比較することができた。
		イ 値段をよく見て、考えて商品を選んでいった。
		ウ 積極的に商品を選んでいった。
		今後に向けて
		数学の授業と連携して、3桁の数の大小の比較の学習をしていく。
	③コミュニケーションカードと話し言葉を併用して、店員さんに買い物に必要なことを伝えることができる。(国語 小3段階)	ア 模擬買い物では、レジでの言葉を覚えて、使うことができるようになった。
		イ 実際の買い物のレジで、身振りでエコバックをもっていることを伝えることができた。
		ウ 尋ねられたことに対して、落ちついて応答することができた。
		今後に向けて
		場によって、話すことが難しくなるので、コミュニケーションカードの活用もできるように支援する。
y	①複数枚のレシートを見て、お小遣い帳の記入をし、計算機で計算して、残金を記録することができる。 (数学 中2段階)	ア レシートから、合計金額を読み取ることができるようになった。
		イ 予算と残金の計算は、レシート3枚中2枚は、暗算ですることができた。
		ウ 複数のレシートの中から、お小遣い帳の記入に使うレシートを積極的に、3枚選ぶことができた。
		今後に向けて
		今回は難しかったが、実際に買い物に行くなど、実践的な学習活動ができたらと考える。
	②買い物の練習時やお小遣い帳の記入時に、わからないことがあったときに、丁寧な言葉遣いで教師に尋ねることができる。(国語 中2段階)	ア 教師に尋ねるとき、敬語を使うことができた。
		イ 自分で考えてから、丁寧な言葉遣いで、尋ねることができた。
		ウ わからないことを、そのままにせず、質問することができた。
		今後に向けて
		作業学習等でも、丁寧な言葉遣いの練習を重ねる。
z	①買い物に係わる一連の手順を理解し、一人で買い物ができる。(家庭 中1段階)	ア 2回の模擬買い物で手順を覚え、実際の店での買い物では、1回目から一人で買い物することができた。
		イ きまりを守って買い物の練習をすることができた。
		ウ 回数を重ねるごとに、自信をもって取り組むことができた。
		今後に向けて

		保護者と学習の成果を共有し、家庭生活にいかしていただけるようにする。	
②教師や友達と一緒に、計算機や数直線ボードを活用して、選んだ商品が予算内で買えるかどうか判断し、買い物後、お小遣い帳に残金を記録することができる。(数学 中1段階)	ア	教師が、数直線ボードにペンで金額を示すことで、予算と買いたい物の金額を比較することができた。	
	イ	予算内で、2つまで買ってよいきまりにすることで、値段をよく見て、考えて買うようになった。	
	ウ	わからない時は、教師に積極的に尋ねていた。	
		今後に向けて 数学の授業と連携して、3桁の数の大小の比較の学習をしていく。	
③身振りやコミュニケーションカードを併用して、店員さんに買い物に必要なことを伝えることができる。(国語 小3段階)	ア	場に応じた言葉を使うことができるようになった。	
	イ	上手く伝わらないときは、身振りや具体物の提示を併用して、伝えることができた。	
	ウ	自信をもって、レジで支払いをすることができるようになった。	
		今後に向けて 国語の学習等で、表出語彙を増やす。	
α	①一部支援を受けながら、買い物に係わる一連の手順を行うことができる。(家庭 中1段階)	ア	ワークシート上では、買い物の手順を理解することができた。
		イ	教師と一緒に模擬レジで、支払い手順を確認した。
		ウ	買い物に行きたい気持ちはあり、店舗まで、たどり着くことはできなかったものの、1回は、途中まで、歩くことができた。
		今後に向けて 体調をみながら、実際に買い物する経験を重ねる。	
②教師と一緒に、選んだ商品が予算内で買えるかどうか判断し、買い物後、お小遣い帳に残金を記録することができる。(数学 中1段階)	ア	不参加	
	イ	不参加	
	ウ	不参加	
		今後に向けて 体調をみながら、買い物をして、お小遣い帳に記録する経験を積む。	
③身振りや言葉で、教師に買いたい物を伝えることができる。(国語 小3段階)	ア	不参加	
	イ	不参加	
	ウ	不参加	
		今後に向けて 体調をみながら、教師に買いたい物を伝える経験を積む。	

ア「知識・技能」 イ「思考・判断・表現」 ウ「主体的に学習に取り組む態度」

12 単元について気付き・意見・今後に向けて

- 今回、学んだ買い物スキルや金銭についての学習を生かすために、今後行う単元も実体験を増やしていく必要があると考える。また、買い物や金銭面の知識を深めるために、たくさんの商品や料金に触れる機会を増やし、商品に対する金銭感覚を身に付けられるようにしたい。
- 本単元では、買い物の一連の流れを学習したり、自分の考えを基に商品を選んだり、金銭を管理する基本を学んだりしたことから、その範囲を広げて家庭からのリクエストを受け付けたり、学校内でも家庭科室や教室などで必要なものを実際に考えるようにすることで、人の役に立つことへの喜びを得ながら生活に密着した学習が考えられる。
- 高等部の時間割はほぼ固定のため、生活単元学習で今回行ったような規模の単元化はすぐにはできない現状もある。再度、各学年の連携や長期的な計画が必要になると思われる。
- 数学で硬貨の種類や紙幣と硬貨の組み合わせによる数字の計算を学習したり、日常生活に活かすためにも概算を取り入れたりすることで、円滑に計算もできるようになると考えられる。教科横断的かつ実践的に幅広い学習を取り入れることも計画できると考える。
- 今年度は2・3年合同での学習を行い、生徒の実態に応じてグループに分けた学習で繰り返しながら定着を図ったり、支出の項目について知り金銭管理の基礎を学んだりできた。実践を通じた学習への高い意欲や主体的な行動も多く見られたために、次年度は高等部全体で計画することも考えられる。学習の形態としては、グループを増やしてより実態に合わせた学習を目的としたり、学年や実態毎にステップアップした活動を計画したりできると考える。
- 今回の生活単元学習を通して、買い物や金銭を扱う学習の内容を見通せた。学部全体で様々な取り組みや学習を展開していきたい。